



令和3年度花巻まつり 9月11・12日の2日間 規模を縮小して開催します

420年以上の伝統と歴史を誇る花巻まつり。伝統芸能の保存・継承と、来年度以降の通常開催につなげるため、規模を縮小し、感染防止対策を徹底しながら開催します。

■開催期日

9月11日(土)・12日(日)

■内容

①神楽権現舞・鹿踊の演舞、花巻ばやしの演奏・踊り公演

・時間…午後2時～4時(予定)

※出演団体、タイムスケジュールは決定次第市ホームページでお知らせします

・会場…市民体育館

・定員…各日100人

●入場に必要な整理券の配布

・対象…市内在住の人

・配布開始日…8月25日(水)

・配布場所…本館観光課および各総合支所産業係
※整理券は1人につき2枚まで。無くなり次第終了

②神輿と半纏の展示

・時間…午前10時～午後4時

・会場…鳥谷崎神社

③記念山車の公開

・時間…午前10時～午後4時

・会場…記念山車収蔵庫(城内)

④パネル展示、動画の放映

・時間…午前10時～午後4時

・会場…なはんプラザ

* 全て入場無料。②～④は整理券不要ですが、混雑時は入場を制限する場合があります

【問い合わせ】花巻まつり実行委員会事務局(本館観光課内 ☎41-3542)

賢治まね まちづくり

第98回

小学生の「うれしい」が ライトアップのオブジェに!



▲自分が描いた作品を見つめる親子

夕闇に包まれた宮沢賢治童話村を幻想的に照らし出す「童話村の森ライトアップ2021」。今年は、賢治作品をモチーフにした115体のオブジェにより、賢治作品の世界を演出しています。今年の見どころの一つが市内小学生50人による作品です。自宅で透明なアクリル板に絵付けを行い、アート集団「ミラーボーラー」の皆さんがオブジェに仕上げました。「うちでワークショップ」と題したこの試みには、外出を控えて家で過ごす時間が増えたため、子どもを中心に家族で取り組める機会になればという思いと、自分たちの作品が童話村に展示される経験を通して、子どものころから花巻

の偉人の一人である宮沢賢治に触れるきっかけになればとの思いが込められています。作品は「うれしい」と感じたときの心模様」というテーマで描かれ、家族みんなの笑顔のほか、星、ハート、花火、虹など一人一人の「うれしい」が表現されています。このオブジェは会場内を流れる小川の脇に展示。見ている人も「うれしい」気持ちになるような、楽しげで可愛い作品が並んでいます。

●童話村の森ライトアップ

2021の開催日など詳しくは市ホームページをご覧ください



▲市ホームページQRコード

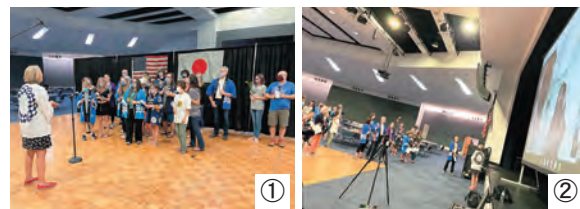
【問い合わせ】
本館賢治まちづくり課
(☎41-3591)



姉妹都市米国ホットスプリングス市から お礼の動画が届きました

7月27日に、姉妹都市ホットスプリングス市から、米国のホストタウンである本市へのお礼の動画が届きました。

本市では、米国およびオーストラリア共和国の姉妹都市などから東日本大震災時に多大な支援を受けたことがきっかけで2017年に両国を相手国とした復興ありがとうホストタウンに登録。そのうち米国とはこれまで、米国出身の元プロ野球選手による野球教室や、米国金メダリストによるスケート教室などのホストタウン事業を実施してきました。新型コロナウイルスの影響により直接の交流は実施できない状況となっても、市民による「雨ニモマケズ」朗読リレー動画や市民からの応援メッセージカード送付など、間接的な交流を続け、米国との絆を深めて



①歌の練習をしているホットスプリングス市民
②オンラインで日本語の発音練習をしている様子

きました。

今回、本市のホストタウンの取り組みに対するお礼として、ホットスプリングス姉妹都市プログラムが動画を制作。多くのホットスプリングス市民が参加し、「世界に一つだけの花」の楽曲を心を込めて日本語で歌っている姿が収録されています。

動画は、ホットスプリングス姉妹都市プログラムの公式フェイスブックで配信されていますので、ぜひご覧ください。

【ホットスプリングス姉妹都市プログラム公式フェイスブックURL】

<https://www.facebook.com/hsscp>



中学生までの子どもと妊婦が対象 インフルエンザ予防接種費用を助成します

市では、中学生までの子どもと妊婦が行うインフルエンザ予防接種の費用を助成します。予防接種を希望する場合は、接種前に申請をしてください。

■対象 市内に住所がある▶平成21年4月2日～令和3年4月1日生まれの乳幼児および小学生▶平成18年4月2日～平成21年4月1日生まれの中学生▶妊婦

■接種期間 10月1日(金)～12月31日(金)

■助成回数 ▶乳幼児および小学生…2回(1回目の接種終了後、2～4週間空けて2回目を接種)▶中学生・妊婦…1回

■接種場所 市内の指定医療機関

※指定医療機関以外でも接種可能ですが、手続きが必要です。詳しくは申請後に郵送される通知文書をご覧ください

■助成額 1回当たり上限3,000円

※差額が生じた場合は自己負担になります

■申請期間 8月23日(月)～12月10日(金)

①8月中までに申請した人には、9月末に予診票を送付します

②9月以降に申請した人には、10月15日から順次予診票を送付します

■申請方法 申請書に必要事項を記入の上、下記申請窓口に持参または健康づくり課へ郵送
※申請書は申請窓口および市内の小児科医院に設置しているほか、市内小・中学校・保育施設を通じて配布します

【問い合わせ・申請】

健康づくり課(〒025-0055 南万丁目970-5 ☎23-3121)、各総合支所健康づくり窓口(大迫 ☎41-3128、石鳥谷 ☎41-3448、東和 ☎41-6518)